研修医一年目、函館で奮闘中

市立函館病院
柳川（やながわ）　遥（はるか）

室蘭出身。札幌医科大学を卒業し現在は函館で働いています。休日は野球観戦、トランペット、テニス、旅行などを楽しんでいます。日々仕事や勉強を頑張りつつ、函館を満喫したいです。

市立函館病院一年目研修医の柳川遥と申します。この度は、大学時代からの友人である木村郁登先生にご紹介いただき、執筆の機会をいただきました。木村くんとは、学生時代にみんなで「ほっかいどう大運動会」の大縄大会に出場したり、ボルダリングに行ったり、他大学の学校祭に遊びに行ったりと、今思い返しても楽しい思い出がたくさんあります。部活も実習班も勉強部屋もそれぞれ違いましたが、こうして今も交流があることを嬉しく思っています。全道各地で大学同期がそれぞれの場所で研修医として頑張っていると思うと、自分も頑張ろうという前向きな気持ちをもらえます。

初期研修医として函館で働き始めてから、気がつけばもうすぐ一年が経とうとしています。慣れない環境の中、ローテート科の病棟業務や救急外来での当直など、毎日があっという間に過ぎていきました。一年目の前半は、目の前の業務に追われる日々で、正直なところ余裕はほとんどなかったように思います。それでも少しずつ経験を重ねるうちに、患者さんや看護師さん、指導医の先生方との関わりの中で、多くのことを学ばせていただいています。

最近になって、将来どの診療科に進むのかということも、現実的に考えるようになりました。現在は内科や小児科の間で進路に悩んでいます。二年目の夏頃には進路を決める時期を迎えますが、「そろそろ決めなければ」と思いつつも、なかなか一つに絞りきれずにいます。診療科ごとにそれぞれの魅力があり、悩みながら選択できる今の研修期間は、実はとても恵まれた時間なのかもしれません。

あと二か月もすれば、新たに後輩研修医が入ってきます。一年があっという間に過ぎていただけに、もう後輩ができるのかと思うと少し不思議な気持ちになります。まだまだ頼れる先輩とは言えませんが、後輩にとって少しでも話しかけやすい存在になれたらと思い、日々の研修に向き合っています。

昨年は卒業旅行でカリフォルニアに行ったり、函館マラソンに研修同期たちと出場したり、市電を貸し切ってパーティーをしたり、函館山からの夜景を見に行ったりと、仕事以外の時間もとても充実していました。美味しい海鮮を食べたりと、函館ならではの魅力にも支えられています。

函館での研修生活も残り一年となりました。日頃お世話になっている先生方や仲間、日々の出来事を大切にしながら、迷いも抱えつつ、自分なりのペースで一歩ずつ前に進んでいけたらと思っています。